

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔福井県教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	福井市光陽中学校	17（2）	484
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	福井市足羽小学校	11（1）	235
	福井市東安居小学校	13（1）	364
	福井市湊小学校	14（1）	374
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

3 意識調査（アンケート共通項目）

（%）

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数 (人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かを するのは楽しい				ウ 授業に主体的に 取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	481	54.5	35.1	6.5	3.9	64.1	28.3	7.0	0.1	32.5	50.8	14.6	2.2	30.3	49.9	15.7	4.0
		前年②	481	56.6	34.5	6.7	2.1	67.7	28.0	3.5	0.9	32.1	48.2	14.8	5.0	27.8	48.6	18.7	5.0
		本年①	483	61.5	32.6	5.0	0.9	73.0	23.7	2.4	0.9	25.4	58.9	13.2	2.4	32.0	51.1	15.0	2.0
		本年②	483	79.2	17.5	2.5	0.6	86.6	11.7	1.5	0.2	54.5	37.2	7.6	0.6	43.7	47.6	8.0	0.6
	3	中2①	152	52.8	38.0	7.7	1.4	69.7	24.6	0.6	0	28.2	56.3	13.4	2.1	21.8	57.0	16.9	4.2
		中2②	153	60.7	31.0	7.6	0.7	71.0	25.5	2.8	0.7	29.7	54.5	12.4	3.4	24.1	53.8	17.9	4.1
		中3①	154	64.3	29.4	6.2	0.0	75.5	21.0	3.5	0.0	25.9	57.3	14.7	2.1	21.0	58.0	18.9	2.1
		中3②	154	76.6	20.0	0.3	0.0	86.9	11.0	2.1	0.0	48.3	44.8	14.7	2.1	36.6	55.2	7.6	0.7
	2	中1①	176	69.2	24.3	5.3	1.2	73.4	23.1	3.0	0.6	45.0	42.6	10.7	1.8	50.3	38.5	10.1	1.2
		中1②	175	55.4	36.3	7.1	1.2	69.0	28.6	1.2	1.2	34.5	45.2	15.5	4.8	33.9	43.5	19.6	3.0
		中2①	174	52.7	41.3	4.2	1.8	64.1	32.3	1.8	1.8	26.3	56.3	15.0	2.4	25.7	52.7	19.2	2.4
		中2②	175	81.2	15.8	1.8	1.2	87.3	10.3	1.8	0.6	59.4	30.3	9.7	0.6	52.1	38.2	8.5	1.2
	1	小6①	181	54.5	35.4	7.9	2.2	70.2	27.0	1.7	1.1	23.0	61.2	13.5	2.2	47.2	46.6	5.6	0.6
		小6②	181	66.3	32.0	0.6	1.1	74.7	21.9	1.7	1.7	36.5	48.3	12.4	2.8	55.1	37.1	6.7	1.1
		中1①	155	68.7	26.0	4.7	0.7	80.7	16.7	2.0	0.7	24.0	63.3	10.0	2.7	49.3	42.7	6.7	1.3
		中1②	156	79.6	17.1	2.6	0.7	85.5	13.8	0.7	0.0	55.3	37.5	6.6	0.7	41.4	50.7	7.9	0.0
小学校	高学年計	前年①	346	57.8	32.6	6.7	2.9	76.0	20.5	2.6	0.9	34.0	51.9	11.7	2.3	54.0	39.3	5.9	0.9
		前年②	346	60.7	34.0	3.7	1.5	73.9	22.0	2.9	1.2	40.5	46.9	46.9	2.1	56.0	36.4	7.0	0.6
		本年①	352	52.3	35.3	10.6	1.7	73.6	22.7	3.2	0.6	39.4	45.4	45.4	2.3	57.2	32.2	9.2	1.4
		本年②	352	65.2	27.3	6.9	0.6	81.6	17.2	0.9	0.3	52.6	37.6	37.6	0.9	64.4	30.7	4.6	0.3
	6	小5①	165	61.3	29.4	5.5	3.7	82.2	13.5	3.7	0.6	46.0	41.7	9.8	2.5	61.3	31.3	6.1	1.2
		小5②	165	54.6	36.2	7.4	1.8	73.0	22.1	4.3	0.6	44.8	45.4	8.6	1.2	57.1	35.6	7.4	0.0
		小6①	165	59.6	30.4	9.3	0.6	73.9	23.6	2.5	0.0	43.5	41.0	14.3	1.2	62.1	30.4	6.8	0.6
		小6②	165	67.3	27.2	4.9	0.6	82.1	17.9	0.0	0.0	55.6	32.7	11.1	0.6	69.1	25.9	4.9	0.0
	5	小5①	187	46.0	39.6	11.8	2.7	73.3	21.9	3.7	1.1	35.8	49.2	11.8	3.2	52.9	33.7	11.2	2.1
		小5②	187	63.4	27.4	8.6	0.5	81.2	16.7	1.6	0.5	50.0	41.9	7.0	1.0	60.2	34.9	4.3	0.5

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	本年①	483	86.5	10.2	1.3	2.0	83.0	11.1	2.6	2.6	88.9	8.7	2.0	0.4	81.3	15.4	2.0	1.3
		本年②	483	94.1	4.3	0.6	0.9	86.8	9.8	1.3	2.2	92.4	6.1	0.9	0.7	86.3	10.0	2.0	1.7
	3	中3①	154	92.3	7.0	0.7	0.0	90.9	7.7	0.7	0.7	91.6	7.7	0.0	0.7	90.2	7.8	1.4	0.7
		中3②	154	96.6	3.4	0.0	0.0	92.4	6.9	0.7	0.0	95.9	4.1	0.0	0.0	96.6	2.8	0.0	0.7
	2	中2①	174	87.4	8.4	1.2	3.0	83.2	10.1	3.0	3.6	93.4	5.3	1.2	0.0	84.4	14.4	0.6	0.6
		中2②	175	96.3	3.7	0.0	0.0	87.2	12.8	0.0	0.0	93.9	4.9	1.2	0.0	87.8	10.4	1.2	0.6
	1	中1①	155	80.0	15.3	2.0	2.7	75.3	15.3	6.0	3.3	81.3	13.3	4.7	0.7	69.3	24.0	4.0	2.7
		中1②	156	89.5	5.9	2.0	2.6	80.9	9.2	3.3	6.7	87.5	9.2	1.3	2.0	75.0	16.4	4.6	3.9
小学校	高学年計	本年①	352	68.1	21.3	5.2	5.5	61.8	25.0	5.5	7.8	72.7	19.5	4.3	3.4	65.8	25.3	4.9	4.0
		本年②	352	80.7	12.9	4.3	2.0	71.8	19.3	6.0	2.9	79.6	13.2	5.2	2.0	73.0	19.3	4.6	3.2
	6	小6①	165	75.2	16.1	3.1	5.6	64.6	25.5	4.3	5.6	78.9	16.8	1.9	2.5	73.3	19.3	3.7	3.7
		小6②	165	84.6	9.3	2.5	3.7	79.0	14.8	3.1	3.1	81.5	11.1	4.3	3.1	79.0	13.6	4.9	2.5
	5	小5①	187	62.0	25.7	7.0	5.3	59.4	24.6	6.4	9.6	67.4	21.9	6.4	4.3	59.4	30.5	5.9	4.3
		小5②	187	77.4	16.1	5.9	0.5	65.6	23.1	8.6	2.7	78.0	15.1	5.9	1.1	67.7	24.2	4.3	3.8

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

4 課題・目標・取組

課題	自己肯定感が低く習慣や社会性が育っていないため、学校生活への不適応感を問題行動として顕在化する児童・生徒が多い。
目標	生徒相互の絆を基盤に、達成感や成就感の獲得に向けて、他と協調しながら目標に向けてねばり強い取組ができるようになる。
取組	家庭と連携して育む習慣や豊かな心を基盤として、小小・小中連携による交流活動で、社会性の育成や学力向上に取り組む。

5 重点推進事項

小・中共通	<p>①学ぶ意欲と学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き、考え、話す態度の育成 ・積極的に発表し、自己のよさや可能性を実感できる授業の実現 ・「分かった」「できた」という達成感や成就感を味わわせる授業展開の工夫 <p>②基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携しながらの基本的な生活習慣の定着と規範意識の高揚 <p>③豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動と関連づけた道徳の授業実践 ・道徳的価値の一覧表を活用した学校生活場面での心の育成 <p>④自己有用感の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域の方と進める小中交流活動 <p>⑤家庭・地域との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育スタンダードの作成と活用、保護者への啓発と懇談会参加者を増やす工夫 ・地域や保護者が小中交流活動に参加できる体制づくり
-------	---

中学校	①地域との連携 ・町内別生徒会の新設と、地域行事等への積極的な参加の体制づくり ②学ぶ意欲や学力の向上 ・見通しを持たせ主体的に考え発表する授業実践
小学校	①学ぶ意欲や学力の向上 ・意欲的に学習できる課題の設定とペアやグループによる話し合い活動を取り入れた授業実践 ・算数共通テストを活用し、弱点補強やその予防のための授業実践 ②自己有用感の育成 ・縦割り班活動を取り入れた学校行事

6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
(1)項目「ア」に関して、中学校で「1」と回答した割合が1年目から24%増加し、小中学校全体では「1」「2」の回答を合わせると90%を超えた。 (2)項目「イ」は、小中学校ともに「1」と回答した割合が80%を超えている。 (3)項目「ウ」は、小中学校ともに「1」と回答した割合が50%を超えている。	(1)意識調査や中学校区教育アンケートなどのデータをもとに、合同部会や合同研修会を実施し、小中学校の教員が目的や方法、成果、課題について共通理解のもと実践することができた。 (2)自尊感情や自己有用感の育成を基調とし、基本的な生活習慣の徹底や道徳教育の充実を図ったことで、落ち着いた学校生活を送ることができた。 (3)2年目から、全職員で主体的な学習態度について共通理解し、児童生徒に規準を示して評価したことと、自信を持って発表できるような働きかけを行うことができた。
課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
○項目「エ」に関して、中学校1年生の値が低下している。	・中学校の学習量について行けない生徒が増えているが、教員がその実態に対して有効な手立てを打っていない。

7 2年間の調査研究の成果と課題

- ① 学ぶ意欲と学力の向上
 - 主体的な学習態度の評価規準を明確にし、教師が適切に評価することで、積極的に発表する生徒の割合が増え、主体的に取り組む態度が養われた。
 - 授業の始めに「めあて」を提示し「振り返り」を充実させることで授業がよく分かる児童生徒の割合が増加した。
 - 授業展開を工夫し、教科への興味関心を高めながら自ら学び考える態度を育成する。
- ② 基本的な生活習慣の定着
 - 重点指導項目を設定し、全教員の共通理解、共通実践によって学校での基本的な生活習慣が定着した。
 - 自ら進んできまりを守ろうとする態度を育成する。
- ③ 豊かな心の育成
 - 体験活動と関連づけた道徳の授業実践の工夫や日常生活における道徳的指導一覧表の活用が進み、道徳の時間に考えを深める児童生徒が増えた。

●学校生活場面における道徳的指導一覧表の活用より一層進め、学校生活全体での道徳の指導を充実させる。

④ 自己有用感の育成

○地域の多様な関係の中で小中交流活動をすることを通して、中学生の自己有用感が高まり、小学生の中学生に対するあこがれが増した。

●小中、小学校内、中学校内、地域など様々な場面で異学年活動を工夫する。

⑤ 家庭・地域との連携の推進

○家庭教育スタンダードを活用することで、保護者の家庭教育への意識が徐々に高まってきた。

●家庭教育スタンダードアンケートの結果から重点項目を設定し、働きかけを強化していく。

8 取組内容

(1) 月別実施内容

※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。

○・・・予定どおり実施

△・・・時期を変更して実施又は実施予定

◇・・・計画書にはないが新たに実施

×・・・実施しなかった

<平成24年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	1年生を迎える会(全小)	○	第1回研究推進委員会【小中合同】 第1回連絡協議会〔東京〕【小中合同】 第1回小中連絡協議会【小中合同】 第2回小中連絡協議会【小中合同】 第1回家庭教育部会(小中PTA担当)	◇ ○ ○ △ ◇
5月	高齢者交流会(湊小・1年) 学習アンケート(全小)	○ ○	第3回小中連絡協議会【小中合同】 第2回家庭教育部会(小中PTA) 第4回小中連絡協議会【小中合同】 第1回小中合同部会(校区全教員) 第1回小中交流部会【小中合同】 第2回研究推進委員会【小中合同】 第1回社会性変容調査(小4～6年、中全学年) 第1回意識調査(小4～6年、中全学年) 小中連音打合会(小・中交流部会) 第5回小中連絡協議会【小中合同】 第1回地域学校協議会連絡会(地域、学校) 第1回学力向上部会【小中合同】 第1回学校生活向上部会【小中合同】 第1回豊かな心育成部会【小中合同】 第2回学力向上部会【小中合同】	△ ◇ △ ○ ◇ ◇ ○ ○ ◇ △ △ ◇ ◇ ◇ ◇
6月	幼稚園訪問・交流会(湊小・5年) 足羽山児童集会(足羽小・全学年) なかよし遊び(足羽小・全学年) 第1回市教委訪問 ミュージックフェスティバル(湊小・全学年)	○ ○ ○ ○ ◇	第2回豊かな心育成部会【小中合同】 企画委員会【小中合同】 第6回小中連絡協議会【小中合同】 第1回校外探究学習(1年) 第1回地域合同清掃ボランティア【小中合同】 第2回学校生活向上部会【小中合同】 第1回公開授業・研究会【小中合同】 第2回公開授業・研究会【小中合同】 第1回家庭教育講演会(保護者・小中教員) 連音合唱発表会(小中合同)	◇ ◇ ○ ○ ○ ○ ◇ △ ○ ○ △

			第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 第7回小中連絡協議会【小中合同】	△ △
7月	なかよし遊び（湊小・全学年） なかよし遊び（東安居小・全学年）	○ ○	第3回公開授業・研究会【小中合同】 第1回中学校区教育アンケート（小3～6年、中全学年） 第1回県・市教委訪問 第4回公開授業・研究会【小中合同】 第1回合同挨拶運動【小中合同】 クリーンアップ大作戦（全学年） 第2回意識調査（小4～6年、中全学年） 第2回社会性変容調査（小4～6年、中全学年） 第1回合同研修会（全教員） 第8回小中連絡協議会【小中合同】 第3回豊かな心育成部会【小中合同】	△ △ ○ △ △ ○ ○ ◇ ○ ○ △ ◇
8月	算数共通テスト作成（全小） 親子奉仕作業（東安居小・全学年） 親子奉仕作業（湊小・全学年）	○ ○ ◇	親子清掃ボランティア（教員、全学年、PTA） 第2回小中交流部会【小中合同】 第9回小中連絡協議会【小中合同】 第2回合同研修会【小中合同】 第3回学力向上部会【小中合同】 第3回学校生活向上部会【小中合同】 第10回小中連絡協議会【小中合同】	○ ◇ △ ○ ◇ ◇ △
9月	体育会での園児との交流（湊小・5年） なかよし遊び（東安居小・全学年） 親子奉仕作業（足羽小）★追加	○ ○ ○	第11回小中連絡協議会【小中合同】 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 学校祭（全学年、保護者、地域）	△ △ ○
10月	なかよし遊び（湊小・全学年） 第4回公開授業・研究会（全小） 幼稚園訪問・交流会（東安居小・5年） 幼稚園訪問・交流会（足羽小・4年）	○ ○ × △	第12回小中連絡協議会【小中合同】 第2回地域合同挨拶運動（小中合同） 第2回地域合同清掃ボランティア（小中合同） 中学校区教育ウィーク（小中合同） 小中合同福祉ボランティア（小中合同） 小学生部活動体験（小中合同） 第2回家庭教育講演会（保護者、小中教員） ブロック協議会【小中合同】	△ ○ ○ ○ △ ○ ○ ○
11月	第5回公開授業・研究会（全小） なかよし遊び（足羽小・全学年） フレンド集会（湊小・全学年）	○ ○ △	第13回小中連絡協議会【小中合同】 第2回県・市教委訪問【小中合同】 職場体験学習（2年） 第2回校外探究学習（1年、地域）	◇ ○ ○ ○
12月	第6回授業公開・研究会（全小） 一斉道徳授業（全小） なかよし遊び（足羽小・全学年）	○ ○ ○	第14回小中連絡協議会【小中合同】 第15回小中連絡協議会【小中合同】 職場体験学習発表会（2年） 第3回意識調査（小4～6年、中全学年） 第3回社会性変容調査（小4～6年、中全学年） 第2回中学校区教育アンケート（小3～6年、中全学年）	◇ ◇ ○ ○ ○
1月	幼稚園訪問・交流会（湊小・5年） 算数共通テスト実施・分析（全小） 大縄跳び大会（足羽小・全学年縦割）	○ ○ ×	第16回小中連絡協議会【小中合同】 地域学習発表会（1年） リーフレット作成【小中合同】	◇ △ ○
2月	高齢者交流会（湊小・3年） なかよし遊び（湊小・全学年） わくわく交流デー（全小・保幼小1）	○ ○ ○	第11回小中連絡協議会 第2回合同部会（校区全教員） 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会【小中合同】 小学生授業体験、中学説明会（小中合同） 第2回地域学校協議会連絡会（地域、学校） 第2回連絡協議会〔東京〕【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○

3月	縄跳びタイム（湊小・全学年） ありがとうボランティア会（湊小1・2年、 足羽小・1年） 見守り隊ありがとう集会（東安居小・全学年） なかよし給食（全小）	○ ○ ○ ○	第12回小中連絡協議会 立志式（1・2年） 研究紀要作成【小中合同】 第4回社会性変容調査（小4～6年、中全学年）	○ ○ ○ ○
----	--	------------------	--	------------------

<平成25年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	1年生を迎える会（全小）	○	第1回研究推進委員会 第1回連絡協議会〔東京〕 第1回小中連絡協議会	○ ○ ○
5月	第1回意識調査（全小） 第1回社会性変容調査（全小） 異学年交流活動（東安居小・全学年） 縦割り班結成（全小）	○ ○ ○ ○	第1回意識調査 第1回社会性変容調査 第2回小中連絡協議会【小中合同】 第1回合同部会【小中合同】 第1回公開授業・研究会【小中合同】 第1回地域合同清掃ボランティア【小中合同】 地域探究活動（1年）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
6月	縦割り遊び（東安居小・全学年） 幼稚園訪問・交流会（湊小・5年） ミュージックフェスティバル（湊小・全学年） 足羽山児童集会（足羽小・全学年） なかよし遊び（足羽小、湊小・全学年） 高齢者交流活動（湊小・1、2年）	○ ○ ○ ○ ○ ○	第3回小中連絡協議会 第2回研究推進委員会【小中合同】 連音発表会【小中合同】 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第2回公開授業・研究会【小中合同】 第3回公開授業・研究会【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○
7月	縦割り遊び（東安居小・全学年） なかよし遊び（湊小・全学年） 第1回中学校区教育アンケート（全小）	○ ○ ○	第1回地域合同あいさつ運動【小中合同】 第4回公開授業・研究会【小中合同】 第4回小中連絡協議会 第1回中学校区教育アンケート 第1回合同研修会【小中合同】 第1回市・県教委訪問	○ ○ ○ ○ △ ○
8月	親子奉仕作業（東安居小・全学年） 親子奉仕作業（湊小・全学年）	○ ○	第5回小中連絡協議会 第3回研究推進委員会【小中合同】 第2回合同研修会【小中合同】 算数共通テスト作成【小中合同】 親子清掃ボランティア（全学年）	○ ○ ○ ○ ○
9月	親子奉仕作業（足羽小東安居小・全学年） 縦割り種目練習（足羽小・全学年） 異年齢交流活動（東安居小・全学年）	○ ○ ○	第6回小中連絡協議会 学校祭（全学年）	○ ○
10月	なかよし集会（足羽小・全学年） 小中連携授業（小中合同） 縦割り遊び（東安居小全学年） なかよし遊び（湊小全学年）	○ △ ○ ○	第7回小中連絡協議会 第4回研究推進委員会 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第2回地域合同清掃ボランティア【小中合同】 第1回地域学校協議会連絡会	○ ○ △ × ○
11月	縦割り遊び（東安居小全学年） ふれあい給食（湊小全学年）	○ ○	ブロック協議会〔大阪〕 第8回小中連絡協議会	○ ○

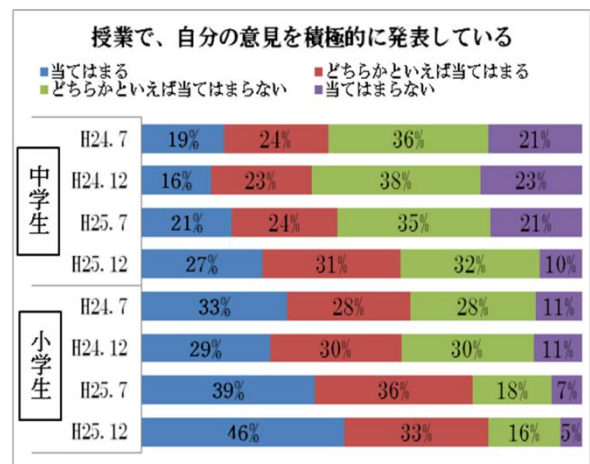
	なかよし遊び（足羽小・全学年）	○	第5回公開授業・研究会【小中合同】 第6回公開授業・研究会【小中合同】 中学校区教育ウィーク【小中合同】 第2回地域合同あいさつ運動【小中合同】 第2回市・県教委訪問 職場体験学習（2年） 校外探求学習（1年） 第7回公開授業・研究会【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
12月	第2回意識調査（全小） 第2回社会性変容調査（全小） 第2回中学校区教育アンケート（全小） 一斉道徳授業（共通） なかよし遊び（湊小全学年） 算数共通テスト実施・分析（全小）	○ ○ ○ ○ ○ ○	第2回意識調査 第2回社会性変容調査 第2回中学校区教育アンケート【小中合同】 第8回公開授業・研究会【小中合同】 第9回小中連絡協議会 第5回研究推進委員会【小中合同】 職場体験学習発表会（1、2年）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
1月	縦割り遊び（東安居小全学） なかよし遊び（湊小全学年）	○ ○	第10回小中連絡協議会 リーフレット作成 地域学習発表会（1年）	○ ○ △
2月	わくわく交流デー（全小・保幼小1） なかよし遊び（足羽小・全学年） 老人との交流活動（3年）	○ ○ ○	第11回小中連絡協議会 第6回研究推進委員会【小中合同】 第2回合同部会 第2回連絡協議会〔東京〕 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会	○ ○ ○ ○ ○ △
3月	ありがとうボランティア会（湊小1.2年、足羽小1年） 見守り隊ありがとう集会（東安居小全学年） 6年生を送る会（全小） なかよし給食（共通）	○ ○ ○ ○	第2回地域学校協議会連絡会 第12回小中連絡協議会 立志式（2年） 中学校区教育報告会	○ ○ ○ ○ ○

（2）重点推進事項の実施状況

〔小・中共通〕

①学ぶ意欲や学力の向上

平成24年度の取組の課題として、教員が主体的に学ぶ姿を共通理解できていことが挙げられた。そこで5月に、授業における主体的な態度とは何かを共通理解するため、「主体的な学びの姿（考え）（聞き）（発表する）」を児童生徒に示し、規準を明確にして授業態度の育成に向けて取り組んできた。7月の中学校区教育アンケートの結果から、授業で「考え」「聞く」態度は定着していることが分かった。しかし、「積極的に発表する」という項目では、学年や学校によって、成果に大きな差があったため、全体として期待したほど伸びていないことが課題となった。そこで、発表することによって自分の考えを高めさせていく態度を育成することに重点を置いて実践を行った。



8月の合同研修会では資料を示し、教員が個に応じた働きかけや言葉かけを

し、児童生徒に自信や安心感を与え、意欲の高まりにつなげていくことを共通理解した。指導と評価の一体化を図り、授業の中でひとりひとりに褒めたり、認めたりする言葉をかけていくことを9月から始めた。

中学校では、授業研究会の在り方も検討し、生徒が主体的に発表するための工夫について検討し、実践に結びつけた。その結果、12月の中学校区教育アンケートの結果から、小中学校とも積極的に発表すると答えた児童生徒の割合が大きく伸びた。

④自己有用感の育成

小中交流部会では、児童生徒の自己有用感を高めるために、11月に2回目の地域合同あいさつ運動を実施した。11月に行われる中学校区教育ウィーク（学校公開期間）を、「あいさつ週間」と位置づけ、そのうちの3日間を強化日としてあいさつ運動を実施した。また、光陽中学校区あいさつ週間に向けて、地域全体で児童生徒の登校時間に合わせてあいさつをする機会にしたいとの趣旨を、公民館を通して回覧板やポスターで広く地域に呼びかけた。児童生徒は、登下校時に地域の人々へしっかりあいさつをするように指導した。

あいさつ運動では、生徒が主体的に活動するための自己評価カードの充実と、小学生が中学生の良さを評価する「お手本カード」を使った取組を行った。

自己評価カードでは、自己目標を設定させると共に、活動の評価の観点を示し、あいさつ運動に取り組みさせた。あいさつ運動後は、各学校での委員会を中心としたあいさつ運動などに自己評価を生かし、同じ規準で取り組んだ。

お手本カードには、「大きな声」「相手の目を見て」「自分から先にあいさつする」という評価項目が書かれてあり、それらの中で良かった点があれば小学生の判断で中学生にカードを手渡した。

事前指導の段階で、自己評価カードを作成したことで、児童生徒がともに高い意識で活動に取り組むことができた。また、小学生の手作りによるお手本カードを活用したため、小学生は中学生を良い手本として見る傾向が強くなった。

これらの活動の結果、どの学年においても地域の大人の役に立っていると回答した児童生徒の割合が増加している。

〔中学校〕

中学校では、「積極的に地域に出向き、地域の一員として活動することで、生徒の自尊感情を高める。」「生まれ育った地域への愛着を深め、地域に貢献する態度を育成する」という目的で町内別生徒会という組織を新設し、地域と連携しながら活動を行うことにした。

生徒は出身小学校区ごとの組織に所属し、各学年の代表者が公民館や地区担当教員と連絡調整を行いながら、地域と連携し「学校が主体となって企画し、地域の協力を得て行う活動」「地域の考えや要望を受けて行う活動」を柱として活動を行っている。

6月から担当教員と担当生徒が公民館で夏休からの行事の打ち合わせを行い、7月初旬に町内別生徒会総会で地域行事への参加について話し合いをした。

夏休み中に生徒達は、地域の清掃活動や地区の祭りの準備・当日の手伝い、社会福祉協議会との懇談会など、1～3年の生徒が一緒に積極的に参加した。

〔小学校〕

小学校では、昨年度の縦割り班活動で、5年生が予想していたほど力を発揮できていなかったという反省を踏まえ、5年生の活動内容の充実を図るよう役割や取組内容を工夫した。また、全校が体育館に集まって一斉に行っていた「なかよし遊び」を、縦割りグループに変更した。その他、活動内容も今まで



地区夏祭りでの活動

は担当する委員会が計画していたが、今年は縦割りグループごとに5・6年生が中心となって話し合いを行い、内容を決定した。（全小）

東安居小学校では、1年～4年生が春の遠足を合同で実施した。縦割りのグループを作り、ウォークラリーをしたり一緒に昼食をとったりした。上の学年となる2・4年は、ふだん学校の中ではリーダーとなる機会がほとんどないが、遠足では、下の学年のお世話をしようとする意識が高まり、リーダーシップを発揮することができた。（東安居小）

湊小学校では、体育大会の一日を縦割り班で活動し、開閉会式でも低学年がしっかり参加できるように高学年が世話をする体制をとった。また、全学年参加の縦割り種目も毎年実施し、縦割り班全員が協力して競技を楽しむ姿が見られた。（湊小）

9 事業担当者の活動

(1) 活動内容

実施要項の該当箇所		活 動 内 容
4 (1) 事業全般		小中連絡協議会の定期的な開催（月1回） 本事業の企画、運営、各学校・市教委との連絡調整、研究事業の成果発表
4 (2)	小・中連携	小中交流活動の企画・運営
	小・小連携	小小連携活動の企画・運営
4 (3) データ収集、分析等		意識調査、社会性変容調査、中学校区教育アンケート、家庭教育アンケート、学校評価の運営・考察
4 (4) 取組の評価		2回の意識調査、2回の社会性変容調査、2回の中学校区教育アンケート、1回の学校評価アンケートの調査や分析
4 (5) 資料作成、広報等		リーフレット作成、研究集録作成、ホームページへの掲載、学校便りなどの配布

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・組織運営に関して、各部会を各学校が責任を持って運営することを通して、全ての職員が目標、取組、成果と課題を共通理解することができるようになった。
- ・P D C Aの推進によって、2年間で取組が改善してきた。
- ・教育のフィールドが家庭や地域にまで広がり、教員だけではなく家庭や地域のより多くの方々が児童生徒の教育を理解し、協力してもらうようになった。

<課題>

- ・教員や保護者、地域が児童生徒の教育に対してより深い共通理解し、共通実践を進めるための体制づくりをしていく。

10 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・指導主事訪問を通して、各学校の状況を把握、計画に基づいた取組の確認、及び、進捗状況や研究の方向性についての指導助言
- ・「魅力ある学校づくり調査研究委員会」における、家庭や地域との連携の把握
- ・指導主事訪問における他中学校区への本事業の発信

〔課題と成果〕

- 小中連携、小小連携については、学校間の共通理解が十分に図られていることが確認できた。
- 調査研究委員会を開き、有識者の意見や保護者の思い等、それぞれの立場で意

見交換することができた。また、これまでの学校の取組を評価し、地域との連携の大切さをあらためて確認することができた。

○指導主事訪問で、授業の様子や児童生徒の活動の様子を参観し、取組の成果を確認することができた。

●他中学校区への本事業のより効果的な発信の仕方

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・市教育委員会と連携しながら、各学校の研究の進捗状況を把握し、研究の方向性について指導助言を行う。
- ・本事業を通して、魅力ある学校づくりに向けた取組について県全体に周知する。

〔課題と成果〕

○調査研究委員会において、各学校の管理職や家庭、地域の代表者と意見を交換し、本事業の研究の方向性について共通理解を図ることができた。

○管理職や生徒指導主事を対象とした研修会等を通して、本事業の取組を紹介することにより、県内全中学校区において、小中（小小）連携による不登校未然防止の取組を推進してきた。

●当該市教育委員会が学校に対して行う具体的な支援策についての指導・助言

11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

(1) 構成

所 属	人数	備 考（主な職名等）
鳴門教育大学教職大学院	1	教授
福井大学教職大学院	1	准教授
県教育庁義務教育課	1	主任
市教育委員会学校教育課	1	指導主事
地域代表	2	公民館長、自治会連合会会長
有識者	1	福井市中央公民館館長
学校関係	8	各校長、事業担当者、連携校担当者
P T A	2	小中 P T A 代表

(2) 事業推進上の成果と課題

＜成果＞

- ・学識経験者や教育機関の委員を選任することで、事業の方向性や取組に関して各分野から専門的な指導助言を受けながら研究を進めることができた。また、保護者や地域の代表者を選任することで、地域や保護者の考えを実践に反映させることができた。

＜課題＞

- ・なし

12 作成資料等

＜平成24年度＞

○リーフレット

「平成24年度魅力ある学校づくり調査研究事業 光陽中学校区教育の取組」

＜平成25年度＞

○リーフレット

「平成24・25年度魅力ある学校づくり調査研究事業 光陽中学校区教育の取組」

13 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

光陽中学校ホームページ www.fukui-city.ed.jp/koyo-j/

【問い合わせ先】

所属	福井県教育庁義務教育課			電話	0776-20-0574	
職名	主任	氏名	坂田 雄一	よみがな	さかた ゆういち	